

読書のすゝめ

その15

H 28

6 / 10

県東地区 生徒図書委員研修会報告

6月1日(水)、麻生高校にて 県東地区生徒図書委員研修会が開かれました。本校からは一年生3名が参加しました。
午前中の「読書会」では、課題図書について意見交換をし、午後からは「篆刻」(蔵書印作り)に挑戦しました。一冊の本を巡って、登場人物の生き方について話し合ったり、自分たちの生活と比較してみたり、高校生ならではのみずみずしい感性で、それぞれの本について語り合いました。



★Aグループ『本屋さんのダイアナ』 柚木麻子著 (担当校…鹿島高校)

私は県東地区生徒図書委員研究会に参加して、多くのことを学ぶことができました。一冊の本について、様々な学校の人と感想や印象などの話を交わすことができ、作品への理解が深まりました。本を通して交流することのできることで、自分では思いつかないような登場人物と自分自身の相違点や共通点などに気づくことができました。また、自分の意見に共感してくれる人達がいって、うれしかったです。私はこの読書会を通して、もっとたくさん本を読み紹介していきたいという気持ちが強くなりました。そして、この貴重な体験をこれから活かしていきたいです。とても充実した一日となり、本当に楽しかったです。機会があれば、また参加したいです。



蔵書印作成中!

★Bグループ『羊と鋼の森』 宮下奈都著 (担当校…潮来高校)



私はこの読書会に参加して、自分の考え方や価値観の幅が広がりました。そして、他校の高校生の意識の高さに刺激されました。もっと本質に触れるようなベシッとした本をたくさん読んで学びたいと感じました。司会の高校生が、話題を色々と広げてくださったので、自分自身のことや自分たちの身の回りのものに目を向けるきっかけになりました。発表する技術も、これからもっと身につけていきたいです。とても楽しく充実した時間を過ごすことができました。

★Cグループ『タスキメシ』 額賀 澤著 (担当校…麻生高校)



私は今回の読書会で、「タスキメシ」について話し合いをしました。自分と異なる考えがたくさんあって、本というものには答えがないから様々な考えがあり面白いと感じました。本の好きな者同士が集まったからこそ盛り上がり、とても有意義で楽しい時間を過ごすことができました。
十二月には、私たちが研修会を開催する側となります。その時に参加される方にも、今回のような充実感を持ち帰ってもらえるように頑張りたいと思います。



*これらの本は、本校図書館に所蔵しています。
みなさんの来館をお待ちしています!

